

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第28回）

日時：2022年10月24日（月）13：00～15：30

場所：オンライン

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員  
山口和人所長・吉久知延・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

内容：（1）中井研究員報告：『自己拡張』によるワクワクと『親密な関係』にフォーカスした研究（その2）」として、以下の論文を紹介

- ・Caselli, A. J., & Machia, L. V. (2022). Discrimination is not just Black and White in romantic relationships: A consideration of perspective taking and self-expansion. *Journal of Personality and Social Psychology*, 123(4), 741-762.

異人種間における恋愛は、人間同士の絆を求める人間の欲求を満たすことができるが、いっぽう人種差別による逆境に直面する。この研究では、白人のパートナーが差別を知ることで、自己拡張を経験する可能性について検討したもの

（2）榎本研究員報告：「成人先天性心疾患患者の病みの軌跡」が大テーマで、今回は「アイデンティティについて考える」

①他者から見ても病気だとわからないBさんの事例から、「自分の持っている世界観と現実とが乖離している」場合のアイデンティティの問題を考察

②研究紹介：失語症の人の語り

- ・能智正博（2003）「適応的」とされる失語症者の構築する失語の意味：「質的心理学研究」2, 89-107
- ・能智正博（2008）『失語症の〈語り〉を聞くこと—“病い”の構築という視点から』：やまだようこ編「質的心理学講座2 人生と病の語り」（PP51-78）

（3）倉住研究員報告：「時間的展望と自己調整プロセスとの関連」について、以下の先行論文を紹介

- ・Understanding the Effects of Time Perspective: A Meta-Analysis Testing a Self-Regulatory Framework Harriet M. Baird, Thomas L. Webb, Fuschia M. Sirois, and Jilly Gibson-Miller *Psychological Bulletin*, 2021, Vol. 147, No. 3, 233-267

時間的展望は、さまざまな生活領域（健康、教育、富など）の重要なアウトカムとなぜ関連するのかについて、自己調整プログラムをもとに検討する

・次回研究会 11月28日（月）13：00～

・次々回研究会 12月26日（月）13：00～